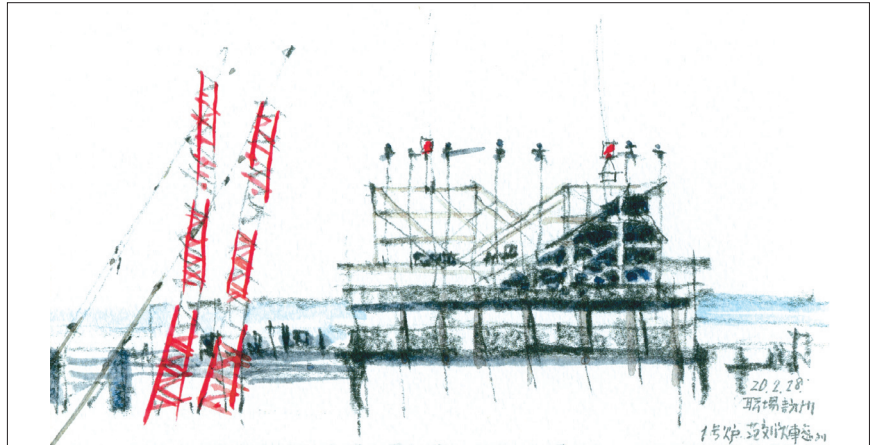


(2020-21年度 国際ロータリー・テーマ)



ロータリーは機会の扉を開く



「福島第一原発」(双葉郡大熊町)

## 写真フィルムケースありませんか？

田中 邦彦 (写真映像関連)

毎年、様々な学校等やお客様から、理科の実験や図工、細かい部品の分別で使いたいで、フィルムケースありませんか？というお問い合わせをいただきます。さすがにここ数年は減ってきましたが、やはり本年度も問い合わせがありました。皆さん、最近フィルムケース見ましたか？絶滅危惧種という言葉がありますが、正にフィルムケースはその危機にあります。日本のフィルムの出荷のピークは2000年でした。国内で年間約5億本、これは日本の人口が1億2500万人としても、一人当たり約5本近い本数を年間に使用していた事になります。そしてそれから10年、2011年の国内出荷量は5000万本でした。何と10年で需要が90%減になってしまいました。国民一人当たり年間でも2本も使わない数字です。そして2012年、今でも生産はされていますが、この年を持ってフィルムの出荷量は公表されなくなりました。そして、その真逆で伸びてきたのが、ご存知デジタルカメラでした。フィルムの衰退と同時に驚異的な販売の伸びを見せます。ただ、そのデジカメさえ、スマートフォンが市場展開され始めた頃から急激に出荷台数が減っていきます。このパターンって、レコードからCDにCDからメディアプレーヤーにそしてスマートフォンにと、何かとても似てるような気がしてなりません。

ただ、最近思うのがデジタルカメラの逆襲です。仕事柄、常に意識していますが、確かにスマホ

の映像は綺麗です(あえて言いますが、スマホの画像は写真ではなくデータです。紙にプリントされて初めて写真になります。良い写真が撮れたと言って見せるのは、間違いです。良いデータもしくは映像と言いましょ(笑)自虐型ネタです!)東京オリンピックが開催されれば、今までは撮ることが不可能に近かった決定的瞬間が、世界に向けて提供されると思っています。

それほど、カメラの進歩は進んでいます。さて私が、仕事で使えるデジカメと初めて出会ったのが1995年に発表されたアメリカのリーフと言う会社の「CathLight」というカメラでした。

値段は約500万、画素数は370画素(ちなみに最近のスマホは普通に2000万画素、当時の写ルンですは300万画素)買える訳がありません。展示会等にも足さえ運びませんでした。しかし、後に知ったのですが、このカメラは発売される5年前には先行モデルが開発され、1991年には世界に向けて仕事をしています。湾岸戦争でスカッドミサイルの先頭に装着され、5秒に一回、何万キロも離れた司令部に映像を送っていました。皆さんも目標に向かってミサイルが飛んで行く映像を目にしたのではないかと思います。インターネットそしてGPSなんて言葉もない時代に確実に元になる技術があったのです。技術の革新は進みます。これからは進歩し続ける技術が、平和に寄与する事を祈りつつ、フィルムケース、あったら譲ってください!!

No. 29 2021・5・11

1951年3月6日設立  
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日  
毎週火曜日・12時30分  
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 内藤 学 ■幹事 香嶋 貴

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階  
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825  
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ http://www.mito-rc.jp/



先ず NTT 東日本が創った言葉「ICT る？」ICT は、インフォメーション&コミュニケーション テクノロジーの略です。私たちは、「ICT る？」を合言葉に、世の中の色々なことを変えていきたいと思っ

ています。私は、この ICT、まんなかに「C」という文字があることがすごく大事だと思っています。昔は IT と言っていました。でも今は、「インフォメーション」と「テクノロジー」の間に「コミュニケーション」が入ります。人と人、街と街をつなぐ、過去と未来をつなぐ、そこに欠かせないのは、「コミュニケーション」であり、技術だけでは語れないものだと考えています。

さて、この一年、コロナ禍で、私たちの世界は劇的に変わりました。

働き方については、テレワーク環境の整備、押印手続き見直し等の業務効率化が進みました。そして、各自治体では、例えばコロナの給付金申請手続きや問合せ、書類の山に職員の皆さんは本当に大変です。ここは今後、「デジタルトランスフォーメーション」を進めていく分野です。さらに、教育では、GIGA スクールという、一人一台の端末を配布し、学びの質を圧倒的に良いものにして、子どもたちの健やかな日常を取り戻す取り組みが始まっています。また、県内の病院、医療に携わる皆さんに向けても、リモート、ディスタンスをキーワードに、ご相談にのる機会がとて増えてきました。

コロナ禍は、マイナス面ばかりが取り上げられておりますが、例えばテレワークは、コロナ禍によって、否応なく社会に浸透したとって良いと思います。コロナ禍で各種施策を中止とするのは簡単ですが、私は、コロナ禍であっても、どうしたら実現出来るかを考え、一定のリスクを負ってでも、種々の課題に取り組みたいと考えています。

ここからは、「ICT がもたらす未来」についてです。

① NTT 持株会社の受付をしてきている、遠隔操作型分身ロボット「オリヒメ D」です。このオリヒメは、大阪の病院に長く入院されている女性の方が遠隔操作しています。外に出られない自分の代わりに、オリヒメが外の世界の人とつながってカメラで見ながら会話をします。この分身ロボットで、例えば障がいがあっても、カフェでお客様から注文を受け、お茶を運ぶことも出来る。働いてお給料をもらうことが出来る、そういう本当の意味でのダイバーシティを私たちは実現していきたいのです。

② NTT 東日本の新宿本社ビルに創った「スマートストア」、ICT による非接触型の無人店舗です。社員にも好評で、特に地元商店街から毎日仕入れるパンが人気です。無人店舗と言うと、広大なデジタル空間を想像されるかもしれませんが、私たちが目指しているのはもっと小規模で、お店番の方が 1 人で運営できるような世界観です。

③ IoT で農業をサポートする千葉県いすみ市つるかめ農園の事例です。無農薬でいいお米を作るためには、水田の水の量を見回す必要があります、その稼働たるや本当に大変だったそうです。田んぼの中に水位センサーを付けることで、離れていても水の増減がすぐに通知され、安心してお米作りができるようになりました。センサーの技術はかなり向上し、農業だけでなく、鳥獣害対策、漁業、こどもやお年寄りの見守りなど、様々な実証をしています。

そして大切なことは、ここまでお話した事例はどれも、NTT グループだけの力ではなく、高い技術と志を持つ多くのパートナーの皆さんとともに、地域の課題解決にチャレンジしているものです。その素晴らしさ、尊さを、私は日々実感しています。

最後に、ICT がもたらす未来をイメージした総務省の動画を流して終わりにしたいと思えます。本日は、ご清聴ありがとうございました。

◇米山奨学生挨拶



趙 文琪 さん

はじめまして。趙文琪と申します。現在筑波大学の3年生です。この度は水戸ロータリークラブの例会に参加させていただきとても光栄です。私は中国の杭州から参りました。あまり馴染のない方も多いと思いますが、歴史を辿ると日本との繋がりも深い場所です。これから1年間お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

◇新会員紹介

○津田 祥一（損害保険業）S44.2.27生

東京海上日動火災保険(株) 茨城支店 支店長



こんにちは。東京海上日動火災保険(株)の津田です。ロータリークラブでの活動は初めてですので、何も解らない状況ですが、早くロータリークラブに慣れて楽しく活動をしていきたいと思っています。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

(推薦者 寺門会員・内藤会員)

◇会長の時間

内藤会長

津田さんご入会おめでとうございます。これからよろしくお願い致します。さて皆さん、ゴールデンウィークはいかがお過ごしだったでしょうか。外出もままならず、何とも言えない5月の始まりとなりました。昨日知事より感染拡大市町村の追加・延長等の措置が出ました。水戸市は19日(水)まで再延長となり、来週の例会まで食事なしの短縮バージョンで開催させていただきます。ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。さて5月は青少年奉仕月間です。水戸ロータリークラブはこれまで、当奉仕に関しても輝かしい実績を残してまいりました。今年度はコロナ禍で活動が大幅に制限されましたが、各委員長のご尽力により様々な活動が展

開されました。創立70周年記念事業として常磐大学様と独自の奨学金制度も発足いたしました。また社会奉仕委員会として、県立水戸高等特別支援学校への支援も始まっております。子供たち・若者の存在は未来そのものです。青少年奉仕は私達ロータリアンにとって、未来を支えていくとても意義ある活動のひとつです。どうかこれからも、皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

◇出席報告

後藤委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
117名	80名	37名	75.47%

前週訂正出席率 82.08%

◇メイクアップ

4/28 水戸西RC 牧 厚志、亀山 昌美

5/9 地区研修・協議会

井上 壽博、齊藤 佳昭、安 圭一  
土子 仁志、篠崎 和則、長野 久嗣  
荒川 繁美、岡崎恵一郎、白田 礼治  
川名 信博、清水 洋一、豊崎 一彦  
横須賀 靖、高尾 哲也、鯉沼 弘之  
西 修

5/11 ワールド大阪REC 秋葉 良孝

◇にこにこBOX

齊藤(佳)委員長

内藤会員……津田さん、ご入会おめでとうございます。

長野(公)会員……本日、卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

香嶋会員……津田さんご入会おめでとうございます。今月も宜しくお願い致します。

石井会員……お陰様でコロナの中でも無事開院記念日を迎えました。

櫻場会員……内藤会長、もう少しガンバッテ下さい。

二川会員……常陽産研 NEWS 5月号のトップインタビューで取り上げて頂きました。写真

